

**大学番号：040**

# **事前伺い**

[平成24年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

山梨大学 工学部 機械工学科・電気電子工学科・  
コンピュータ理工学科・情報メカトロニクス工学科  
・土木環境工学科・応用化学科・先端材料理工学科

**【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書**

国立大学法人 山梨大学  
平成24年5月1日現在



## 目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	12
3	既設大学等の状況	39
4	教員組織の状況	40
5	その他全般的事項	41



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 山梨大学

## (2) 大学名

山梨大学

## (3) 大学の位置

〒400-8510

山梨県甲府市武田4丁目3番11号

(山梨県甲府市武田4丁目4番37号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成21年度開設の4年制の学科の場合(平成24年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部	年	人	年次人	人	
機械工学科 学士(工学)	4	55	3年次 10	240	
電気電子工学科 学士(工学)	4	55	3年次 5	230	
コンピュータ理工学科 学士(工学)	4	55	3年次 5	230	
情報メカトロニクス工学科 学士(工学)	4	55	0	220	
土木環境工学科 学士(工学)	4	55	0	220	
応用化学科 学士(工学)	4	55	0	220	
先端材料理工学科 学士(工学)	4	35	0	140	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

機械工学科

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	55 ( - ) [ - ]		( ) ( ) [ ]		( ) ( ) [ ]		( ) ( ) [ ]		( ) ( ) [ ]		1.12倍	
志願者数	237 ( - ) [ 6 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
受験者数	161 ( - ) [ 6 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
合格者数	65 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
B 入学者数	62 ( - ) [ 4 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
入学定員超過率 B/A	1.12											

電気電子工学科

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	55 ( - ) [ - ]	人	人	人	人	人	人	人	人	人	1.14倍	
志願者数	191 ( - ) [ 7 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
受験者数	138 ( - ) [ 6 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
合格者数	69 ( - ) [ 4 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
B 入学者数	63 ( - ) [ 3 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
入学定員超過率 B/A	1.14											

コンピュータ理工学科

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	55 ( - ) [ - ]	人	人	人	人	人	人	人	人	人	1.07倍	
志願者数	253 ( - ) [ 8 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
受験者数	205 ( - ) [ 8 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
合格者数	65 ( - ) [ 3 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
B 入学者数	59 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
入学定員超過率 B/A	1.07											

情報メカトロニクス工学科

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	55 ( - ) [ - ]	人	人	人	人	人	人	人	人	人	1.10倍	
志願者数	230 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
受験者数	157 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
合格者数	62 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
B 入学者数	61 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
入学定員超過率 B/A	1.10											

土木環境工学科

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	55 ( - ) [ - ]	人	人	人	人	人	人	人	人	人	1.07倍	
志願者数	169 ( - ) [ 21 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
受験者数	130 ( - ) [ 21 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
合格者数	66 ( - ) [ 4 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
B 入学者数	59 ( - ) [ 3 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
入学定員超過率 B/A	1.07											

応用化学科

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	55 ( - ) [ - ]	人	人	人	人	人	人	人	人	人	1.10倍	
志願者数	256 ( - ) [ 19 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
受験者数	194 ( - ) [ 18 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
合格者数	65 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
B 入学者数	61 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
入学定員超過率 B/A	1.10											

先端材料理工学科

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	35 ( - ) [ - ]	人	人	人	人	人	人	人	人	人	1.11倍	
志願者数	162 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
受験者数	115 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
合格者数	43 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
B 入学者数	39 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]									
入学定員超過率 B/A	1.11											

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ [ ] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入**してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

機械工学科

学 年	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 4 ] 62	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次			/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
4年次	/				[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
計			[ 4 ] 62	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]

電気電子工学科

学 年	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 3 ] 63	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次			/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
4年次	/				[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
計			[ 3 ] 63	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]

コンピュータ理工学科

学 年	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 2 ] 59	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次			/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
4年次	/				[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
計			[ 2 ] 59	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]

情報メカトロニクス工学科

学 年	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 2 ] 61	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次			/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
4年次	/				[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
計			[ 2 ] 61	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]

土木環境工学科

学 年	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 3 ] 59	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次			/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
4年次	/				[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
計			[ 3 ] 59	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]

応用化学科

学 年	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 2 ] 61	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次	/		/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
4年次	/		/		/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
計	[ 2 ] 61	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

先端材料理工学科

学 年	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 2 ] 39	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次	/		/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
4年次	/		/		/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
計	[ 2 ] 39	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

機械工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留學生数		
平成24年度 入学者	62人	0人	平成24年度	0人	0人		0%
平成25年度 入学者	人	人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
合計	62人	0人					0%

電気電子工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留學生数		
平成24年度 入学者	63人	0人	平成24年度	0人	0人		0%
平成25年度 入学者	人	人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
合計	63人	0人					0%

コンピュータ理工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	59人	0人	平成24年度	0人	0人		0%
平成25年度 入学者	人	人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
合計	59人	0人					0%

情報メカトロニクス工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	61人	0人	平成24年度	0人	0人		0%
平成25年度 入学者	人	人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
合計	61人	0人					0%

土木環境工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	59人	0人	平成24年度	0人	0人		0%
平成25年度 入学者	人	0人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
合計	59人	0人					0%

応用化学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	61人	0人	平成24年度	0人	0人		0%
平成25年度 入学者	人	人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
合計	61人	0人					0%

先端材料理工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	39人	0人	平成24年度	0人	0人		0%
平成25年度 入学者	人	人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
合計	39人	0人					0%

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<工学部 機械工学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教育科目	別紙（33頁～37頁）のとおり											
基礎ゼミ	機械工学基礎ゼミ	1前	2			7	6 5		5 6	1		専任教員の異動により変更(24)
基礎教育	微分積分学Ⅰ	1前	2			1	4					専任教員の異動により変更（兼担教員が担当）(24)
	微分積分学Ⅱ	1後		2		1	4					専任教員の異動により変更（兼担教員が担当）(24)
	線形代数学Ⅰ	1前	2			1	4					専任教員の異動により変更（兼担教員が担当）(24)
	線形代数学Ⅱ	1後		2		1	4					専任教員の異動により変更（兼担教員が担当）(24)
	微分方程式	2前		2		1						
	応用数学	2後		2				1				
	複素関数論	3前		2		1						
	情報処理及び実習	1前		2		1	1			1		授業運営上の都合により教員変更(24)
	確率統計学	2前	2					1				
	数値計算及び実習	3前		2				1				
	基礎物理学Ⅰ	1前	2			1	4					授業運営上の都合により教員変更(24)
	基礎物理学Ⅱ	1後		2		1						
	応用物理学	2前		2		1						
基礎化学	1前		2									
コミュニケーション	3前		2									
技術英語Ⅰ	3後	2		2							教育効果の観点から単位区分変更(24)	
技術者倫理	3後	2										
幸福・福祉概論	1前	2								1		
基礎工学	機械工学デザインⅠ	1後	1			1	4			1		授業運営上の都合により教員変更(24)
	機械工学デザインⅡ	2前	1				1			1		
	機械工学デザインⅢ	2後	1				1					
	ものづくり実習Ⅰ	2前	1			1	1					
	ものづくり実習Ⅱ	2後	1			1	1					
	機械工学実験Ⅰ	3前	1			1	1			5 6 5 6	1	専任教員の異動により変更(24)
	機械工学実験Ⅱ	3後	1			1	1				1	専任教員の異動により変更(24)
	材料力学Ⅰ	2前		2		1						
	機械力学	2前 1後		2				1				教育効果の観点から配当年次を変更(24)
	熱力学	2前		2		1						
	材料力学Ⅱ	2後		2		1						
	材料の科学Ⅰ	2後		2				1				
	振動工学	2後 2前		2				1				教育効果の観点から配当年次を変更(24)
	流体工学Ⅰ	2後		2				1				
	伝熱工学	2後		2								
	加工学Ⅰ	2後		2		1						
	機械要素設計	3前		2				1				
	材料の科学Ⅱ	3前		2		1						
	制御工学Ⅰ	3前		2		1						
	流体工学Ⅱ	3前		2		1						
	熱エネルギー変換工学	3前		2		1						
加工学Ⅱ	2		2				1					
電気電子工学	3前		2									
情報システムと社会Ⅰ	2前		2									
組込み設計	2前		2									
応用工学	バイオメカニクス	3前		2		1						
	自動車工学	3前		2		1						
	材料力学Ⅲ	3前 3後		2				1				教育効果の観点から配当年次を変更(24)
	塑性加工	3後		2		1						
	表面処理工学	3後		2		1						
	制御工学Ⅱ	3後		2		1						
	流体工学Ⅲ	3後		2				1				
航空宇宙工学	3後		2		1							

応用工学	原子力工学	3後		2		1														
	技術英語Ⅱ	4前	2			7	5													
	電池工学	3前		2																
	電気エネルギー変換工学	3前		2																
	コンピュータネットワーク	3前		2																
	運動の力学Ⅱ	3前		2																
	システム設計	3前		2																
	マルチメディア工学	3前		2																
	量子光学	3前		2																
	電子デバイス工学Ⅱ 電子デバイス工学	3後		2																誤記により訂正(24)
特殊研究	インターンシップⅠ	2・3・4通		1			1													
	インターンシップⅡ	2・3・4通		1			1													
	PBLものづくり実践ゼミ	3後		2																
	機械工学演習	3後		1		7	5		6	1										
	リスク管理・危機管理概論	2後		2																
	ベンチャービジネス論	4前		2																
	特別講義	4後		1		1	1													
機械工学卒業論文	4通	6				7	6 5		5 6	1									専任教員の異動により変更(24)	
その他	リーダー養成特別演習1	1後			1		1													履修者がいないため非開講(24)
	リーダー養成特別演習2	2前			1															
	リーダー養成特別演習3	3前			1															
	リーダー養成特別インターンシップ1	1通			1		1													履修者がいないため非開講(24)
	リーダー養成特別インターンシップ2	2通			1															
	リーダー養成特別インターンシップ3	3通			1															
	キャリア形成実習1	2前			1	7	6 5		5 6	1										専任教員の異動により変更(24)
	キャリア形成実習2	2後			1	7	6 5		5 6	1										専任教員の異動により変更(24)
	キャリア形成実習3	3前			1	7	6 5		5 6	1										専任教員の異動により変更(24)
	キャリア形成実習4	3後			1	7	6 5		5 6	1										専任教員の異動により変更(24)
	工業科教育法Ⅰ	3前			2															
	工業科教育法Ⅱ	3後			2															
	教職実践演習(高)	4後			2															
高等学校教育実習	4前			3																
職業指導第一	4前・後			2																
職業指導第二	4前・後			2																

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
17	53	16	86	16	54	16	86	
				[ Δ1 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<工学部 電気電子工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通教育科目	別紙(33頁~37頁)のとおり										
基礎ゼミ	電気電子工学基礎ゼミ	1前	2			6	8 6		3 5		専任教員の異動により変更(24)
基礎教育	微分積分学Ⅰ	1前	2				1		1		専任教員の異動により変更(24)
	微分積分学Ⅱ	1前	2					1	+		
	基礎解析学	2前	2			1					
	線形代数学Ⅰ	1前	2			1					
	線形代数学Ⅱ	1後	2			1					
	応用解析Ⅰ	1後	2				1				
	応用解析Ⅱ	2前	2			1					
	情報処理及び実習	1前	3				1		1		
	基礎物理学Ⅰ	1前	2				1		+		
	基礎物理学Ⅱ	1後	2			1					
	物理学実験	2前	2				2 +		+		
	基礎化学	1前	2				+				
	化学実験	2前	2				1				
科学の作法	1後	2			2	2					
基礎統計学及び実習	1後	2			1						
コミュニケーションⅠ	3前	2			1						
コミュニケーションⅡ	3後	2			1						
基礎工学	基礎電気理論	1前	2			1					専任教員の異動により変更(24)
	基礎電気電子工学実験	1後	2			6	8 6		3 5		
	プログラミングⅠ及び実習	1後	2				1		+		
	プログラミングⅡ及び実習	2前	2				1		1		
	デジタル回路	1後	2			1					
	マテリアルサイエンス	1後	2				1				
	電気回路Ⅰ	2前	2				1				
	電気回路Ⅰ 演習	2前	2				1				
	電気回路Ⅱ	2後	2			1					
	電子回路Ⅰ	2後	2				1				
	電子回路Ⅰ 演習	2後	2				1				
	電磁気学Ⅰ	2前	2			1					
	電磁気学Ⅰ 演習	2前	2			1					
	電磁気学Ⅱ	2後	2			1					
	電子デバイス工学Ⅰ	3前	2				1				
	電子デバイス工学Ⅰ 演習	3前	2				1				
	システム制御工学Ⅰ	2後	2			1					
	システム制御工学Ⅰ 演習	2後	2			1					
	信号とシステム	1後	2			1					
	信号とシステム 演習	1後	2			1					
情報通信Ⅰ	3前	2				1					
情報通信Ⅰ 演習	3前	2				1					
技術者倫理	3後	2			1						
電気電子工学実験Ⅰ	2後	2				2		1			
電気電子工学実験Ⅱ	3前	2				2		1			
応用工学	プログラミングⅢ及び実習	2後	2			1					
	計算機アーキテクチャ	2前	2			1					
	コンピュータ制御及び実習	3前	3			1			1		
	電子回路Ⅱ	3前	2				1				
	情報通信Ⅱ	3後	2				1				
	計測センシング工学	3前	2				1				
	電気エネルギー変換工学	3前	2			1					
	量子力学	3前	2			1					
	電池工学	3前	2								
	電子デバイス工学Ⅱ	3後	2			1					
	システム制御工学Ⅱ	3後	2			1					
	光波動工学	3後	2				1				
	量子工学	3後	2				1				
	エンジニアリングデザイン	3前	2				1				
電子応用実験	3後	2			1			2			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
応用工学	電気応用実験	3後	2				1	1		2	
	パワーエレクトロニクス	4前		2							
	自動車工学	4前		2							
	航空宇宙工学	4後		2							
	コンピュータネットワーク	4前		2							
	組込み設計	4前		2							
	運動の力学Ⅱ	4前		2							
	システム設計	4前		2							
	量子光学	4前		2							
	マルチメディア工学	4前		2							
特殊研究	機械加工及び実習	3前		2							
	通信法規	4前		1							
	電気法規及び電気施設管理	4前		1							
	高電圧工学	3後		2		1					
	電機制御工学	3後		2			1				誤記により訂正(24)
	電気制御工学	3後		2							
	電気設計製図	4前		2		1					
	ベンチャービジネス論	4前		2							
	インターンシップⅠ	2・3・4通		1		1					
	インターンシップⅡ	2・3・4通		1		1					
電気電子工学研修	4通	2			6	8		3	5	専任教員の異動により変更(24)	
電気電子工学卒業論文	4通	6			6	8		3	5	専任教員の異動により変更(24)	
その他	実践ものづくり実習	1後			1						
	PBLものづくり実践ゼミ	3後			2						
	リーダー養成特別演習1	1後			1		1				履修者がいないため非開講(24)
	リーダー養成特別演習2	2前			1	2					
	リーダー養成特別演習3	3前			1	1					
	リーダー養成特別インターンシップ1	1通			1						履修者がいないため非開講(24)
	リーダー養成特別インターンシップ2	2通			1	2					
	リーダー養成特別インターンシップ3	3通			1	1					
	キャリア形成実習1	2前			1	6	8		3	5	専任教員の異動により変更(24)
	キャリア形成実習2	2後			1	6	8		3	5	専任教員の異動により変更(24)
	キャリア形成実習3	3前			1	6	8		3	5	専任教員の異動により変更(24)
	キャリア形成実習4	3後			1	6	8		3	5	専任教員の異動により変更(24)
	電力発生工学	3後			2	1					
	電力伝送工学	4前			2	1					
	工業科教育法Ⅰ	3前			2						
	工業科教育法Ⅱ	3後			2						
教職実践演習(高)	4後			2							
高等学校教育実習	4前			3							
職業指導第一	4前・後			2							
職業指導第二	4前・後			2							

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況			
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
29	50	20	99	29	50	20	99
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<工学部 コンピュータ理工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教育科目	別紙(33頁~37頁)のとおり											
基礎ゼミ	コンピュータ理工学基礎ゼミ	1前	2			8 6	8 9		5			専任教員の異動により変更(24)
基礎教育	微分積分学Ⅰ	1前	2			1						
	微分積分学Ⅱ	1後		2			1					
	線形代数学Ⅰ	1前	2			1						
	線形代数学Ⅱ	1後		2			1					
	確率統計及び演習Ⅰ	1前	2			1						
	確率統計及び演習Ⅱ	1後		2		1						
	離散数学	1後	2			1						
	物理学Ⅰ	1前		2		1						
	物理学Ⅱ	1後		2			1					
	基礎電気理論	2前		2		1		1				
	情報理論	2前		2		1						
	情報処理及び実習	1前	3					1		1		
	基礎工学	プログラミング基礎	1前	2				1				
プログラミング基礎演習		1前	1							1		
プログラミング応用		1後	2					1				
プログラミング応用演習		1後	1							1		
コンピュータ理工学概論		1後	2			8 6	8 9		5			専任教員の異動により変更(24)
科学技術英語		3後	2			1						
アルゴリズムとデータ構造Ⅰ		2前	2				1					
アルゴリズムとデータ構造Ⅰ演習		2前	1							1		
アルゴリズムとデータ構造Ⅱ		2後		2		1						
ソフトウェア設計開発演習Ⅰ		3前	2					1				
計算機アーキテクチャⅠ		1後	2					1				
計算機アーキテクチャⅠ演習		1後	1							1		
計算機アーキテクチャⅡ		2前		2		1						
ハードウェア基礎実験	2前		2				1		1			
データベース及び演習	2前	2					1					
オペレーティングシステム	2後	2			1							
オペレーティングシステム演習	2後	1							1			
コンピュータネットワーク	3前	2					1					
コンピュータネットワーク実習	3前		2						1			
ITシステム開発実習	3後	1					1					
ソフトウェア工学及び演習Ⅰ	2後	2					1					
ソフトウェア工学及び演習Ⅱ	3前		2				1					
ソフトウェアプロジェクト管理	3前		2				1					
ソフトウェア設計開発演習Ⅱ	3後	2					1		1			
プログラミング言語論	2後	2					1					
ヒューマンコンピュータインタラクション	3前		2				1					
コンピュータグラフィックス	2後	2					1					
コンピュータグラフィックス演習	2後	1							1			
情報システムと社会Ⅰ	2前	2					1					
情報システムと社会Ⅱ	2後						1					
形式言語とコンパイラ	3前		2				1					
論理と形式手法	3前		2			1						
数値計算	3前		2					1				
リスク管理・危機管理概論	3後		2									
総合科目1	3後		2			1	1		1			
総合科目2	3後		2			1	1		1			
応用工学	ビジュアルコンピューティング	3前		2		1						
	感性情報工学	3後		2				1				
	感性情報処理演習	3後		1						1		
	知的システムⅠ	3前		2				1				
	知的システムⅡ	3後		2				1				
	知的システム演習	3後		1			1			1		
	デジタル信号処理	3後		2			1					
	組込みシステム	3前		2				1				
組込み情報処理演習	3後		1						1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
応用工学	ベンチャービジネス論	4前		2							
	品質管理概論	4前		2			1				
	組込み設計	2前		2							
	自動車工学	3前		2							
	電気エネルギー変換工学	3前		2							
	運動の力学Ⅱ	3前		2							
	システム設計	3前		2							
	マルチメディア工学	3前		2							
電子デバイス工学Ⅱ	3後		2							誤記により訂正(24)	
電子デバイス工学Ⅱ	3後		2								
航空宇宙工学	3後		2								
特殊研究	特別講義Ⅰ	2・3・4通		2		1					教育効果の観点から配当年次を変更(24)
	特別講義Ⅱ	2・3・4通		2		1					教育効果の観点から配当年次を変更(24)
	実践ものづくり実習	1後		1							
	PBLものづくり実践ゼミ	3後		2							
	インターンシップⅠ	2・3・4通		1		1					
	インターンシップⅡ	2・3・4通		1		1					
	コンピュータ理工学工学研修Ⅰ	4前・後	1			8	8		5		専任教員の異動により変更(24)
	コンピュータ理工学工学研修Ⅱ	4前・後	1			8	8		5		専任教員の異動により変更(24)
コンピュータ理工学卒業論文	4通	6			8	8		5		専任教員の異動により変更(24)	
その他	リーダー養成特別演習1	1後			1		1				履修者がいないため非開講(24)
	リーダー養成特別演習2	2前			1		1				
	リーダー養成特別演習3	3前			1						
	リーダー養成特別インターンシップ1	1通			1						履修者がいないため非開講(24)
	リーダー養成特別インターンシップ2	2通			1		4				
	リーダー養成特別インターンシップ3	3通			1						
	キャリア形成実習1	2前			1	8	8		5		専任教員の異動により変更(24)
	キャリア形成実習2	2後			1	8	8		5		専任教員の異動により変更(24)
	キャリア形成実習3	3前			1	8	8		5		専任教員の異動により変更(24)
	キャリア形成実習4	3後			1	8	8		5		専任教員の異動により変更(24)
	代数学	2前			2						
	幾何学	2後			2						
	情報科教育法Ⅰ	3前			2						
	情報科教育法Ⅱ	3後			2						
中等数学科教育法Ⅰ	3前			2							
教職実践演習(高)	4後			2							
高等学校教育実習	4前			3							
情報と職業	3後			2	1						

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況			
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
30	47	18	95	30	47	18	95
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<工学部 情報メカトロニクス工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教育科目	別紙(33頁~37頁)のとおり											
基礎ゼミ	情報メカトロニクス工学基礎ゼミ	1前	2			6	10 9		5 6			専任教員の異動により変更(24)
基礎教育	線形代数学Ⅰ	1前	2			1 +						専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
	線形代数学Ⅱ	1後		2		+						専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
	解析学	2後		2			1					
	微分方程式	2前		2								
	微分積分学Ⅰ	1前	2			1 +						専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
	微分積分学Ⅱ	1後		2		+						専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
	情報処理及び実習	1前	2			1 +	1		1			授業運営上の都合により教員変更(24)
	プログラミング入門	1前	2			1 +	1		1			授業運営上の都合により教員変更(24)
	情報理論	2前		2			1					
	確率・統計学	2前	2				1					
	コミュニケーション	2後	2									
	基礎物理学Ⅰ	1前		2				1				
	基礎物理学Ⅱ	1後		2			1					
基礎物理学Ⅲ	2前		2			1						
基礎化学	1後		2									
科学の作法	1前	2			2 +	1 2			+		授業運営上の都合により教員変更(24)	
物理学実験	1前	2			1	2 +			1 4		授業運営上の都合により教員変更(24)	
技術者倫理	2後	2										
基礎工学	情報メカトロニクス工学実習Ⅰ	1後	2			1	1		2			専任教員の異動により変更(24)
	情報メカトロニクス工学実習Ⅱ	2前	2			1			2			
	情報メカトロニクス工学実習Ⅲ	2後	2			1			2			
	情報メカトロニクス工学実験Ⅰ	3前	2			1	1		5 6			専任教員の異動により変更(24)
	情報メカトロニクス工学実験Ⅱ	3後	2			1	1		5 6			専任教員の異動により変更(24)
	科学技術英語	4前	2			6	10 9					専任教員の異動により変更(24)
	情報メカトロニクス製図	2前	2			1	1		+			専任教員の異動により変更(24)
	材料と力学Ⅰ	1前		2				1				
	材料と力学Ⅱ	1後		2				1				
	機械要素Ⅰ	2前		2			1					
	流れの科学	3後		2			1					
	運動の力学Ⅰ	2後		2			1	1		1		
	運動の力学Ⅰ演習	2後		1				2 +		+		専任教員の異動により変更(24)
	信号とシステム	1前		2				1				
	信号とシステム演習	1前		1				1		1		
	アナログ回路Ⅰ	2前		2			1					
	デジタル回路Ⅰ	3前		2				1		1		
アナログ回路Ⅱ	2後		2				1					
計測とセンサ	1後		2			1	1					
組込みプログラミングⅠ	1後		2				1					
組込みプログラミングⅠ演習	1後		2				1		1			
組込みソフトウェア構成法	2後		2			1						
組込み設計	2前		2			1						
組込み設計演習	2後		1						1			
組込みアーキテクチャ	3前		2				1					
応用工学	システム制御工学	3前	2			1						
	システム制御工学演習	3前	1						1			
	情報メカトロニクス工学演習	3後	1			6	10 9					専任教員の異動により変更(24)
	機械要素Ⅱ	3前		2		1	1					
	機械加工学	3後		2				1				
	システム設計	3前		2				1				
デジタル回路Ⅱ	3後		2				1					
組込みプログラミングⅡ	2前		2			1			1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
応用工学	コンピュータ制御	3後		2			1				
	運動の力学Ⅱ	3前		2		1			1		
	マルチメディア工学	3前		2		1					
	数値計算	3後		2		1					
	デバイス工学	3後		2			1				
	品質管理・安全	3後		2		1	1		1		
	電池工学	3前		2							
	自動車工学	3前		2							
	航空宇宙工学	3後		2							
	電気エネルギー変換工学	3前		2							
	電子デバイス工学Ⅱ	3後		2							
	コンピュータネットワーク	3前		2							
	情報システムと社会Ⅰ	2前		2							
特殊研究	実践ものづくり実習	1後		1							
	インターンシップⅠ	2・3・4通		1		1					
	インターンシップⅡ	2・3・4通		1		1					
	リスク管理・危機管理概論	3後		2							
	ベンチャービジネス論	4前		2							
	PBLものづくり実践ゼミ	3後		2							
情報メカトロニクス工学実践	4前	2			1	1		1			
情報メカトロニクス工学卒業論文	4通	6			6	10		5			
その他	キャリア形成実習1	2前			1	6	10		5		
	キャリア形成実習2	2後			1	6	10		5		
	キャリア形成実習3	3前			1	6	10		5		
	キャリア形成実習4	3後			1	6	10		5		
	工業科教育法Ⅰ	3前			2						
	工業科教育法Ⅱ	3後			2						
	教職実践演習(高)	4後			2	1					
	高等学校教育実習	4前			3						
	職業指導第一	4前・後			2						
	職業指導第二	4前・後			2						

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況			
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
22	51	10	83	22	51	10	83
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<工学部 土木環境工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教育科目	別紙(33頁~37頁)のとおり											
基礎ゼミ	土木環境工学基礎ゼミ	1前	2			6 9	8 11	0	2 3	0		専任教員の異動により変更(24)
基礎教育	線形代数学Ⅰ	1前		2								
	線形代数学Ⅱ	1後		2								
	微分積分学Ⅰ	1前		2								
	微分積分学Ⅱ	1後		2								
	基礎数学及び演習	1後		2								
	微分方程式Ⅰ	2前		2								
	微分方程式Ⅱ	2後		2								
	基礎統計学	1前		2			1					
	応用統計学	1後		2		1						
	情報処理及び実習	1前		2			1					
	数値計算及び実習	2前		2			1					
	基礎物理学Ⅰ及び演習	1前		3		1						
	基礎物理学Ⅱ	1後		2		1						
	基礎物理学Ⅲ	2後		2		1						
応用物理学	1後		2		1							
基礎化学Ⅰ	1前		2		1						専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)	
基礎化学Ⅱ	1後		2		1							
基礎化学Ⅲ	2後		2			1					専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)	
基礎生物学	1後		2			1						
コミュニケーション	1後	2			1				2 3		専任教員の異動により変更(24)	
基礎工学	土木環境デザイン	1後	1				1 2					授業運営上の都合により教員変更(24)
	測量学第一	2後	2									
	測量学第二	3後	2									
	測量学実習第一	3前	1				2		1			
	測量学実習第二	3前	1				2		1			
	技術者倫理	3後	1			1	1					
	エンジニアリングデザイン入門	1後	1				2					誤記により訂正(24)
	エンジニアリング・デザイン入門	1後	1				2					
	土木環境科学実験1	2後		1		1	3			1		科目の表記の修正及び専任教員の異動により変更(24)
	土木環境科学実験2	2後		1		1	3			1		
	土木環境科学実験1または2	2後		1		1	4			2		
	建設材料学及び演習	2前	3			1	1					
	コンクリート構造学第一	2後		2			1					
	建設工学実験Ⅰ	3前	1				1					
	構造力学及び演習第一	2前	3				2					
	構造力学第二	2後		2		1						
	土質力学及び演習第一	2前	3			1	1					
	土質力学第二	2後		2			1					
	建設工学実験Ⅱ	3前	1				1					
	水理学及び演習第一	2前	3				1					専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
	水理学第二	2後		2		1						専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
	水理学第三	3前		2		1						専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
	計画学基礎及び演習	2後	3			1	1					
都市計画	2後		2			1					専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)	
防災工学Ⅰ	2後		2		1	1						
リスク管理・危機管理概論	2後		2		1	1						
衛生工学及び演習	2前	3				1 2					専任教員の異動により変更(24)	
環境生態学	2後		2			1	1				専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)	
環境工学概論	2後		2		1	2	2				専任教員の異動により変更(24)	
環境工学実験	3前	1			1	1	2		1 2		専任教員の異動により変更(24)	
応用工学	建築学大意	4前		2								誤記により訂正(24)
	建設学大意	4前		2								専任教員の異動により変更(24)
	エンジニアリングデザインⅠ	3後	1			1	2				誤記により訂正(24)	
	エンジニアリング・デザインⅠ	3後	1			2	3					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
応用工学	エンジニアリングデザインⅡ	4前	1			2	3				専任教員の異動により変更(24) 誤記により訂正(24)  専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24) 専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24) 専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)  専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24) 専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)  専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24) 専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)  教育効果の観点から単位数及び単位区分変更(24)
	エンジニアリングデザインⅡ	3前		2			4				
	コンクリート構造学第二	2後		2			1				
	構造動力学	3後		2		1					
	構造設計論	3前		2		1					
	土質工学第一	3後		2			1				
	土質工学第二	3前		2				1			
	水文学	3後		2				↓			
	総合河川学	3後		2		↓					
	水資源学	3後		2				↓			
	交通計画	2後		2				1			
	交通工学	3前		2		1					
	景観工学	3前		2				1			
	防災工学Ⅱ	3前		2		1		1			
水処理工学	3前		2				↓				
廃棄物管理工学	3前		2		↓						
水質学	3前		2		1						
環境生物工学	3後	↓	2				1				
特殊研究	ベンチャービジネス論	4前		2							専任教員の異動により変更(24)  専任教員の異動により変更(24)
	品質管理概論	4前		2							
	実践ものづくり実習	1後		1							
	PBLものづくり実践ゼミ	3後		2							
	土木環境行政法	4前	1			2					
	特別講義第一	3前・後	1			1					
	特別講義第二	3前・後	1			1					
	インターンシップⅠ	2・3・4通		1		1					
	インターンシップⅡ	2・3・4通		1		1					
	土木環境工学英文購読	3後	1			6	8		2		
土木環境工学卒業論文	4通	6			9	11		3			
その他	キャリア形成実習1	2前			1	6	8		2	専任教員の異動により変更(24)  専任教員の異動により変更(24)  専任教員の異動により変更(24)  専任教員の異動により変更(24)	
	キャリア形成実習2	2後			1	6	8		2		
	キャリア形成実習3	3前			1	6	8		2		
	キャリア形成実習4	3後			1	6	8		2		
	工業科教育法Ⅰ	3前			2						
	工業科教育法Ⅱ	3後			2						
	教職実践演習(高)	4後			2						
	高等学校教育実習	4前			3	1					
	職業指導第一	4前・後			2						
	職業指導第二	4前・後			2						

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
27	51	10	88	25	54	10	89	
				[ Δ2 ]	[ 3 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<工学部 応用化学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教育科目	別紙(33頁~37頁)のとおり											
基礎ゼミ	応用化学基礎ゼミ	1前	2			5	7		3 4			専任教員の異動により変更(24)
基礎教育	線形代数学Ⅰ	1前	2									
	微分積分学Ⅰ	1前	2									
	線形代数学Ⅱ	1後		2								
	微分積分学Ⅱ	1後		2								
	微分方程式Ⅰ	2前	2									
	情報処理及び実習	1後		2								
	基礎物理学Ⅰ	1後	2									
	基礎物理学Ⅱ	2前	2									
	入門物理学	1前		1								
	基礎物理化学Ⅰ	1前	2				1					
	基礎無機化学	1前	2			1						
	基礎有機化学Ⅰ	1前	2			1						
	基礎有機化学Ⅱ	1後	2				1					
	基礎物理化学Ⅱ	1後	2				1					
	基礎分析化学	1後	2				1					
基礎材料科学	2前	2							1			
化学実験	2後	2					2		1	1		
ものづくり基礎ゼミ	1後	1			5	7		3 4			専任教員の異動により変更(24)	
機械加工及び実習	2前		2									
リスク管理・危機管理概論	2後		2									
技術者倫理	2後		2									
基礎工学	有機化学第一	2前		2			1					
	物理化学第一	2前		2			1					
	物理化学第二	2前		2		1						
	物理化学演習	3後	1			1	1					
	分析化学	2前		2		1						
	分析化学演習	3後	1						1			
	無機化学	2前		2								
	無機化学演習	3前	1						1			
	有機化学第二	2後		2			1					
	量子化学	2後		2			1					
	有機化学演習	3後	1				1					
	化学技術英語	3後		2								
	基礎電気化学	2後		2								
	高分子合成化学	2後		2		1						
	材料物性	2後		2			1					
ものづくり発展ゼミⅠ	2前	1			5	7		3 4			専任教員の異動により変更(24)	
ものづくり発展ゼミⅡ	2後	1			5	7		3 4			専任教員の異動により変更(24)	
応用化学実験Ⅰ	3前	3			1			1				
応用化学実験Ⅱ	3前	3			1	1		1			専任教員の異動により変更(24)	
応用化学実験Ⅲ	3後	3				3						
応用化学実験Ⅳ	3後	3			5	7		3 4			専任教員の異動により変更(24)	
応用工学	安全環境化学	2前		2			1					
	化学工学演習	3前		1					1			専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
	化学工学	3前		2								
	無機機器分析	3前		2		1						
	有機機器分析	3後		2			1					
	高分子物性	3前		2		1						
	有機工業化学	3後		2		1						
無機工業化学	3後		2		1							
実践ものづくり実習	1後		1									
研究殊	物質工学研修Ⅰ	4前	1			5	7		3 4			専任教員の異動により変更(24)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
特殊研究	物質工学研修Ⅱ	4後	1			5	7		3		専任教員の異動により変更(24)
	ベンチャービジネス論	4前		2					4		
	品質管理概論	4前		2							
	特別講義第一A	4前		1							
	特別講義第一B	4前		1							
	特別講義第二A	4前		1							
	特別講義第二B	4前		1							
	インターンシップⅠ	2・3・4通		1			1				
インターンシップⅡ	2・3・4通		1			1					
応用化学卒業論文	4通	6			5	7		3	4	専任教員の異動により変更(24)	
その他	リーダー養成特別演習1	1後			1		1				履修者がいないため非開講(24)
	リーダー養成特別演習2	2前			1		1				
	リーダー養成特別演習3	3前			1						
	リーダー養成特別インターンシップ1	1通			1						履修者がいないため非開講(24)
	リーダー養成特別インターンシップ2	2通			1		1				
	リーダー養成特別インターンシップ3	3通			1						
	キャリア形成実習1	2前			1	5	7		3	4	専任教員の異動により変更(24)
	キャリア形成実習2	2後			1	5	7		3	4	専任教員の異動により変更(24)
	キャリア形成実習3	3前			1	5	7		3	4	専任教員の異動により変更(24)
	キャリア形成実習4	3後			1	5	7		3	4	専任教員の異動により変更(24)
	PBLものづくり実践ゼミ	3後			2						
	中等理科教育法Ⅱ	3前			2		1				課程認定審査の過程で名称変更(24)
中等理科教育法Ⅰ											
教職実践演習(高)	4後			2							
高等学校教育実習	4前			3							

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
28	35	14	77	28	35	14	77	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<工学部 先端材料理工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教育科目	別紙(33頁~37頁)のとおり											
基礎ゼミ	先端材料理工学基礎ゼミ	1前	2			5	5	0	2 3	0	専任教員の異動により変更(24)	
基礎教育	入門物理I	1前	3			1			1		専任教員の異動により変更(24)	
	入門物理II	1後	3			1			1		教育効果の観点から単位区分変更(24)	
	初等力学	1後	2	2								
	振動・波動論	2前		2			1					
	物理学実験	2前	2						1			
	入門化学I	1前	3						1			
	入門化学II	1前	2						1			
	熱力学	1前	2									
	化学実験	1後	2				1					
	化学反応論	2前		2								
	微分積分学I	1前	2						1			
	微分積分学II	1前	2					1				
	線形代数学I	1後	2					1				
	線形代数学II	2前		2				1				
数学演習I	1前	1					1					
数学演習II	1後	1			1							
情報処理及び実習	1後		2						1			
熱力学演習	1前		1									
基礎工学	ベクトル・フーリエ解析	1後		2		1						
	確率・統計学	2前		2			1					
	複素関数論	2前		2			1					
	常微分方程式	2前		2		1						
	偏微分方程式	2後		2		1						
	化学平衡論	1後	2	2			1				教育効果の観点から単位区分変更(24)	
	初等量子論	2前	2									
	分光学	3後		2				1				
	電磁気学	2後	2			1						
	電磁気学演習	2後		1		1						
	量子力学	2後	2	2		1					教育効果の観点から単位区分変更(24)	
	量子力学演習	2後		1		1						
	固体物理学	3前		2								
	基礎材料化学	2後		2								
	無機材料工学	3前		2								
	材料物性	3後		2								
	金属・半導体合成プロセス工学	2後		2		1						
	半導体デバイス工学	3前		2								
	基礎工学演習I	1後		1		1						
	基礎工学演習II	2前		1					1			
プログラミング序論及び実習	2前		2			1						
基礎工学実験I	2前	2										
基礎工学実験II	2後	2				1			2			
科学技術英語	3前	2				1						
プレゼンテーション	3後	2				1						
応用工学	統計力学	3後		2		1						
	応用統計学	3前		2		1						
	流体力学	3後		2			1					
	表面科学	3前		2			1					
	結晶科学	3後		2								
	固体分析科学	2後		2								
	光物性物理学	3前		2		1						
	量子光学	3前		2		1						
	機能デバイス工学	3後		2		1						
	有機材料工学	3後		2			1					
	化学工学	4前		2								
	半導体プロセス工学	3後		2		1						
	電気エネルギー変換工学	4前		2								
応用工学実験I	3前	2			5	5		2 3		専任教員の異動により変更(24)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
工学用	応用工学実験Ⅱ	3後	2			5	5		2		専任教員の異動により変更(24)
特殊研	特別講義第一	集中講義		2							
	特別講義第二	集中講義		2							
	特別講義第三	集中講義		2							
	特別講義第四	集中講義		2							
	特別講義第五	集中講義		2							
特殊研	特別講義第六	集中講義		2							
	インターンシップⅠ	2・3・4通		1		1					
特殊研	インターンシップⅡ	2・3・4通		1		1					
	先端材料理工学研修 英語研修	4通	2			5	5		2		
特殊研	先端材料理工学卒業論文 先端材料工学卒業論文	4通	6			5	5		2		専任教員の異動により変更(24) 誤記により訂正(24)
	技術者倫理	4前		2							
その他	実践ものづくり実習	1後			1						専任教員の異動により変更(24)  専任教員の異動により変更(24)  専任教員の異動により変更(24)  専任教員の異動により変更(24)  課程認定審査の過程で名称変更(24)
	PBLものづくり実践ゼミ	3後			2						
	キャリア形成実習1	2前			1	5	5		2		
	キャリア形成実習2	2後			1	5	5		2		
	キャリア形成実習3	3前			1	5	5		2		
	キャリア形成実習4	3後			1	5	5		2		
	中等数学科教育法Ⅰ	3前			2						
	中等理科教育法Ⅱ	3前			2						
	中等理科教育法Ⅰ	3前			2						
	代数学	2前			2						
	幾何学	2後			2						
教職実践演習(高)	4後			2							
高等学校教育実習	4前			3							

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
26	44	12	82	23	47	12	82	
				[ Δ3 ]	[ 3 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<工学部 全学共通教育科目>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通教育科目	生活と健康 I	1 前	1			3 4	3 4				カリキュラム整備により担当教員を変更(24)
	生活と健康 II	1 後	1			4 3	3 2				カリキュラム整備により担当教員を変更(24)
	人間形成論	1 前 1-2前後		2		9 10					カリキュラム整備により配当年次及び担当教員を変更(24)
	エンployアビリティ論 職業選択支援プログラム	1 後 1-2前後		2		1					カリキュラム整備により科目名称を変更(24)
	キャリア形成のための作文演習	1 前後		2		1	1				
	キャリア形成論	1 前後		2		1					
	英語 A I	1 前	2			2	2 4				カリキュラム整備により担当教員を変更(24)
	英語 A II	1 前	2			1	3				
	英語 A III	1 前	2				4 2				カリキュラム整備により担当教員を変更(24)
	英語 B I	1 後	2			1	3				
	英語 B II	1 後	2			2 1	2 3				カリキュラム整備により担当教員を変更(24)
	英語 B III	1 後	2			1	4 2				カリキュラム整備により担当教員を変更(24)
	TOEFL I	1-2-3-4前		4			1				
	TOEFL II	1-2-3-4後		4			1				
	総合英語	2前後		2		2	7 8				カリキュラム整備により担当教員を変更(24)
	英語リーディング・ライティング	2前後		2		1	5 4				カリキュラム整備により担当教員を変更(24)
	英語リーディング・ライティング(上級)	2前後		2			2				
	英語オーラルコミュニケーション	2前後		2			3 4				カリキュラム整備により担当教員を変更(24)
	英語オーラルコミュニケーション(上級)	2前後		2			2				
	e-ラーニング I	1-2-3-4前		1			1				
	e-ラーニング II	1-2-3-4後		1			1				
	e-ラーニング III	2-3-4 前		1			1				カリキュラム整備により配当年次を変更(24)
	e-ラーニング IV	2-3-4 後		1			1				カリキュラム整備により配当年次を変更(24)
	Intensive15- I (英語)	1-2-3-4前		1			1 2				カリキュラム整備により担当教員を変更(24)
	Intensive15- II (英語)	1-2-3-4前		1			1 2				カリキュラム整備により担当教員を変更(24)
	Intensive90- I (英語)	2-3-4前		6			1				
	Intensive90- II (英語)	2-3-4後		6			1				
	ドイツ語初級 I	1 前		2			1				
	ドイツ語初級 II	1 後		2			1				
	ドイツ語演習 I	1 前		2			1				
ドイツ語演習 II	1 後		2			1					
ドイツ語中級 I (総合)	2 前		2								
ドイツ語中級 II (総合)	2 後		2								
ドイツ語中級 I (コミュニケーション)	2 前		2								

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
全 学 科 共 通 教 育 科 目	ドイツ語中級Ⅱ（コミュニケーション）	2前		2								
	ドイツ語Intensive90-I	2・3・4前		6			1					
	ドイツ語Intensive90-II	2・3・4後		6			1					
	フランス語初級Ⅰ	1前		2			1		1			カリキュラム整備により担当教員を変更(24)
	フランス語初級Ⅱ	1後		2			1		1			カリキュラム整備により担当教員を変更(24)
	フランス語演習Ⅰ	1前		2			1					
	フランス語演習Ⅱ	1後		2			1					
	フランス語中級演習Ⅰ	2・3・4前		2			1					カリキュラム整備により科目を追加(24)
	フランス語中級演習Ⅱ	2・3・4後		2			1					カリキュラム整備により科目を追加(24)
	フランス語中級Ⅰ（総合）	2前		2			1					カリキュラム整備により担当教員を変更(24)
	フランス語中級Ⅱ（総合）	2後		2								カリキュラム整備により科目を追加(24)
	フランス語中級Ⅰ（コミュニケーション）	2前		2					1			カリキュラム整備により担当教員を変更(24)
	フランス語中級Ⅱ（コミュニケーション）	2後		2					1			カリキュラム整備により担当教員を変更(24)
	フランス語Intensive90-I	2・3・4前		6			1		1			カリキュラム整備により配当年次及び担当教員を変更(24)
	フランス語Intensive90-II	2・3・4後		6			1		1			カリキュラム整備により配当年次及び担当教員を変更(24)
	中国語初級Ⅰ	1前		2				1				
	中国語初級Ⅱ	1後		2				1				
	中国語演習Ⅰ	1前		2								
	中国語演習Ⅱ	1後		2								
	中国語中級Ⅰ（総合）	2前		2				1				
	中国語中級Ⅰ（コミュニケーション）	2前		2								
	中国語中級Ⅱ（総合）	2後		2				1				
	中国語中級Ⅱ（コミュニケーション）	2後		2								
	中国語Intensive60-I	2・3・4前		4				1				
	中国語Intensive60-II	2・3・4後		4				1				
	スペイン語初級Ⅰ	1前		2				1				カリキュラム整備により科目を追加(24)
	スペイン語初級Ⅱ	1後		2				1				カリキュラム整備により科目を追加(24)
	スペイン語演習Ⅰ	1前		2				1				カリキュラム整備により科目を追加(24)
	スペイン語演習Ⅱ	1後		2				1				カリキュラム整備により科目を追加(24)
	日本文学作品論Ⅱ	1・2・3・4後		2				1				カリキュラム整備により科目を廃止(24)
	国語表現	1・2・3・4前		2				1				
	禅と文化	1・2・3・4後		2				1				カリキュラム整備により科目を廃止(24)
日本古代の政治と文化	1・2・3・4後		2				1	1			カリキュラム整備により担当教員を変更(24)	
考古学について	1・2・3・4前		2									
メディアと人間	1・2・3・4後		2				1					
子どもと文化	1・2・3・4後		2				1					
ヨーロッパ中世の諸相	1・2・3・4後		2					1				
山梨大学から見る大学の歴史と現在	1・2・3・4後		2				1					
教育史を通して見る日本の近代現代	1・2・3・4前		2					1				
歴史認識	1・2・3・4後		2								カリキュラム整備により科目を廃止(24)	
日本文学環境論	1・2・3・4後		2								カリキュラム整備により科目を廃止(24)	
小説における〈他者〉の問題	1・2・3・4後		2				1					
ものといのち	1・2・3・4後		2				2					
芸術における言語と身体 <span style="color:red">の思想</span>	1・2・3・4後		2					1			カリキュラム整備により科目名称の変更(24)	
文化記号論	1・2・3・4後		2					1				
源氏物語を読む	1・2・3・4後		2				1					
生活と会計	1・2・3・4後		2					1			カリキュラム整備により科目を廃止(24)	
日本語表現の現在	1・2・3・4後		2				1				カリキュラム整備により科目を追加(24)	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
全 学 教 育 科 目	経済学目で見ると	1・2・3・4後		2		1						
	日本国憲法	1・2・3・4前		2			1					
	スポーツ映画に見る現代社会	1・2・3・4後		2			1					
	住まいの地方性	1・2・3・4前		2		1						
	山梨学	1・2・3・4前		2			1					
	<b>社会変動と人間</b>	<del>1・2・3・4後</del>		<del>2</del>		<del>1</del>						カリキュラム整備により科目を廃止(24)
	特別支援教育総論	1・2・3・4前		2		1						
	現代日本の政治と政策	1・2・3・4後		2		1	1					カリキュラム整備により担当教員を変更(24)
	投資と資産形成	1・2・3・4前		2		1						
	理系女性のキャリア形成	1・2・3・4前		2		3	1	1	2			カリキュラム整備により担当教員を変更(24)
	科学・デザイン・コミュニケーション	1・2・3・4前		2		1						
	生活設計論	1・2・3・4前		2			1					
	企業概論	1・2・3・4前		2								
	経営分析のためのデータ解析	1.2.3.4前		2		1						
	現代社会と教育	1・2・3・4前		2		1				1		
	こころと体の障害の理解と支援	1・2・3・4後		2			1					
	環境政策の展開	1・2・3・4前		2				1				
	映像で考える子どもと教育	1・2・3・4前		2		1						
	人間理解の心理学	1・2・3・4前		2				1	1			カリキュラム整備により担当教員を変更(24)
	放射線と現代	1・2・3・4後		2			4	1				カリキュラム整備により担当教員を変更(24)
	教育問題から見た現代社会	1・2・3・4後		2				1				
	保育・子育ての現在	1・2・3・4後		2				1				
	哲学のさまざまな問題	1・2・3・4後		2		1						
	経営管理（マネジメント）	1・2・3・4後		2								
	子どもとジェンダー	1・2・3・4前		2			1					
	<b>思考の整理術</b>	<del>1・2・3・4前</del>		<del>2</del>		<del>1</del>						カリキュラム整備により科目を追加(24)
	科学技術史入門	1・2・3・4後		2		1						
	天文学への誘い	1・2・3・4後		2								
	確率的見方	1・2・3・4後		2			1					
	ヒトに至る生命の歴史	1・2・3・4前		2		1						
	生物学の様子	1・2・3・4後		2								
	染色の科学	1・2・3・4後		2		1						
	子どもと自然	1・2・3・4後		2		1						
	材料と技術	1・2・3・4前		2		1						
	家庭の中のエレクトロニクス	1・2・3・4前		2		2		1	1			カリキュラム整備により担当教員を変更(24)
	人間とコンピュータ	1・2・3・4後		2			4					
	地球環境化学とエネルギー	1・2・3・4後		2			1					
	現代生活とバイオテクノロジー	1・2・3・4後		2		4	3	4				カリキュラム整備により担当教員を変更(24)
	ワインと宝石	1・2・3・4前		2		5	6	7				カリキュラム整備により担当教員を変更(24)
	これからの機械技術	1・2・3・4前		2		3	1					
人間と機械	1・2・3・4後		2		2	2						
地球の見方	1・2・3・4前		2			1						
医工学と現代社会	1・2・3・4前		2		1							
一般相対性理論への招待	1・2・3・4後		2			1						
クリスタルサイエンス	1・2・3・4後		2		3	5		3				
<b>【環】環境マネジメント概論</b>	<del>1・2・3・4前</del>		<del>2</del>								カリキュラム整備により科目を廃止(24)	
ワイン製造及び体験実習	1・2・3・4前		2			1						
生命科学と社会	1・2・3・4前		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
全 学 教 共 通 教 育 科 目	数理の発想でみる自然・社会・人間	1・2・3・4前		2			1					
	電気とコンピューター	1・2・3・4後		2		1						
	水圏植物の生物学	1・2・3・4後		2			1					
	子どもと事象の数理	1・2・3・4後		2			1					
	数学的見方	1・2・3・4前		2			1					
	依存の科学	1・2・3・4前		2		1						
	ガイア仮説と地球システム科学	1・2・3・4前		2			1					
	<del>エントロピーと環境問題</del> <del>魔方陣から現代数学へ</del>	<del>1・2・3・4後</del>		<del>2</del>			<del>1</del>					カリキュラム整備により科目名称を変更(24)
	物理バズルで親しむ身近な自然現象	1・2・3・4前		2			1					
	自然災害と都市防災	1・2・3・4前		2		1	<del>1</del>					カリキュラム整備により担当教員を変更(24)
	頭と身体の運動学	1・2・3・4前		2			1					カリキュラム整備により科目を追加(24)
	高分子材料化学	1・2・3・4前		2		1						カリキュラム整備により科目を追加(24)
	光る分子の科学	1・2・3・4前		2			1					カリキュラム整備により科目を追加(24)
	ウイルスと人間 <del>ウイルスと人間B</del>	1・2・3・4後		2		1	1					カリキュラム整備により科目名称を変更(24)
	心理学への誘い	1・2・3・4前		2								
	音楽の即興表現	1・2・3・4前		2		1						
	死生学入門	1・2・3・4前		2		1						
	健康科学	1・2・3・4後		2		1						
	スポーツマッサージ入門	1・2・3・4前		2		1						
	感性による造形	1・2・3・4前		2		1						
	スポーツとダイエットの科学	1・2・3・4前		2			1					
	かたちの不思議と幾何学的デザイン	1・2・3・4後		2		1						
	生命倫理	1・2・3・4前		2		1						
	医療の最先端	1・2・3・4前		2		1						
	社会における看護と介護	1・2・3・4後		2		2						
	社会の中の医療・医学	1・2・3・4後		2		1						
	人体の生命科学	1・2・3・4前		2				1		1		
	アウトドアパスーツⅠ	1・2・3・4前		2		1						
	アウトドアパスーツⅡ	1・2・3・4後		2		1						
	写真の歴史	1・2・3・4後		2			1					
	健康社会学	1・2・3・4後		2			1					
	社会と文化の心理学	1・2・3・4後		2					1			
	<del>吹奏楽の楽しみ</del> <del>アンサンブルの楽しみ</del>	<del>1・2・3・4後</del>		<del>2</del>								カリキュラム整備により科目名称を変更(24)
	球技スポーツの魅力	1・2・3・4前		2								
	運動と遊び	1・2・3・4後		2								
	スポーツ考現学への誘い	1・2・3・4前		2								
	健康なからだ論	1・2・3・4前		2								
	パーソナリティ心理学	1・2・3・4前		2			1					
	こころの健康づくり	1・2・3・4前		2				1				
	ミュージカルを歌おう	1・2・3・4前		2			1					
余暇社会の身体活動	1・2・3・4後		2									
ピアノを弾こう	1・2・3・4後		2		1							
音楽の分析と表現	1・2・3・4後		2			1						
ダンス・セラピー	1・2・3・4後		2			1						
東洋音楽鑑賞	1・2・3・4前		2		1							
異文化間コミュニケーション	1・2・3・4前		2		1							
アジアの人々	1・2・3・4後		2									
ボランティア理論	1・2・3・4前		2									
世界近現代史の潮流と日本	1・2・3・4後		2			1						
現代政治の 이슈ー	1・2・3・4後		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全 学 科 目 通	映像を通じて見る異文化 電子音楽の世界 実演・楽器学～管弦打楽器の特性と 暮らしの中の美と形	1・2・3・4期		2		1	1					
		1・2・3・4期		2								
		1・2・3・4期		2			1					カリキュラム整備により科目を追加(24)
		1・2・3・4期		2								カリキュラム整備により科目を追加(24)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
8	157	0	165	8	164	0	172	
				[ 0 ]	[ 7 ]	[ 0 ]	[ 7 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	日本文学作品論Ⅱ	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員退職のため
2	禅と文化	2	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
3	歴史認識	2	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
4	日本文学環境論	2	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
5	生活と会計	2	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
6	社会変動と人間	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員退職のため
7	【環】環境マネジメント概論	2	1・2・3・4前後	一般	選択	カリキュラムの整備のため

- (注) ・ 届出時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学共通教育科目のカリキュラム見直し等に伴い, 廃止することになった。  
 当該科目は全学共通教育科目における教養教育科目部門に位置付けている科目であり, 廃止科目に代わる科目を準備(増加)していることから, 履修への影響は無いと考える。  
 なお, 学生に対しては, 学生便覧及びホームページ等により周知済みである。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.04}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	山梨大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
教育人間科学部									
学校教育課程	4	125	—	425	学士(教育)	1.11	平成10年度	山梨県甲府市 武田四丁目 4-37	
生涯学習課程	4	20	—	80	学士(教養)	1.13	〃		
国際共生社会課程	4	—	—	—	学士(教養)	—	〃		平成24年度より 学生募集停止
ソフサイエンス課程	4	—	—	—	学士(教養)	—	〃		〃
医学部									
医学科	6	125	—	705	学士(医学)	1.01	昭和55年度	山梨県中央市 下河東1110 番地	
看護学科	4	60	3年次 10	260	学士(看護学)	1.04	平成7年度		
工学部									
機械工学科	4	55	3年次 10	55	学士(工学)	1.12	平成24年度	山梨県甲府市 武田四丁目 3-11	
電気電子工学科	4	55	3年次 5	55	学士(工学)	1.14	〃		
コンピュータ理工学科	4	55	3年次 5	55	学士(工学)	1.07	〃		
情報メディア工学科	4	55	—	55	学士(工学)	1.10	〃		
土木環境工学科	4	55	—	55	学士(工学)	1.07	〃		
応用化学科	4	55	—	55	学士(工学)	1.10	〃		
先端材料理工学科	4	35	—	35	学士(工学)	1.11	〃		
機械システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成元年度		平成24年度より 学生募集停止
電気電子システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成10年度		〃
コンピュータ・メディア工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	〃		〃
土木環境工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成元年度		〃
応用化学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成16年度		〃
生命工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	〃		〃
循環システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成10年度		〃
生命環境学部									
生命工学科	4	35	—	35	学士(生命工学)	1.08	平成24年度	山梨県甲府市 武田四丁目 4-37	
地域食物科学科	4	30	—	30	学士(農学)	1.16	〃		
環境科学科	4	30	—	35	学士(環境科学)	1.06	〃		
地域社会システム学科	4	35	—	35	学士(社会科学)	1.05	〃		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校(AC対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<工学部>

専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
44	52	0	29	125	0	43	52	0	25	120	2	
(43)	(52)	(0)	(25)	(120)	(2)	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ Δ4 ]	[ Δ5 ]	[ 2 ]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ] 内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

## 5 その他全般的事項

<工学部>

情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成24年9月1日公表予定 )